

食育実践指導者研修会での講演

食育とは健全な食生活の実現、食文化の継承、健康の維持などのために、食に対する知識や食を選択する判断力を身につける学習のことです。

今回、東伊豆町主催の食育実践指導者研修会において「天草・心太について」の学習会を行うということで、本県のテングサ漁業についての講演の依頼を受け、対応しました。

研修会は平成 27 年 8 月 18 日に東伊豆町保健センターで開催されました。本研修会の対象者は学校関係の教諭、食育推進連絡会各部会委員、ならびに健康づくり食生活推進委員などで、当日の参加者は 38 名でした。初めに県立稲取高等学校の櫻井校長先生から「ところてん（天草）の歴史について」と題して明治から昭和にかけての天草漁業の歴史についての講演がありました。次いで伊豆分場から「静岡県のテングサ～漁業、利用と効能～」と題して近年の天草漁業の状況、天草の利用のされ方、食した時の効能について紹介しました（写真 1）。また、実際のテングサを見てもらうため、マクサやオバクサなど種類別の押葉標本を回覧しました（写真 2）。

今回の食育研修会では、実際に教育の現場に立つ指導者の方々に対して講演するということで、この講演を通して食育の指導に少しでも役に立つことがあれば幸いです。今後とも水産にかかる情報提供や情報発信という面からも地域に貢献できればと思います。
（山田博一）



写真 1 講演の様子



写真 2 テングサ押葉標本の回覧